

子どもたちに命の尊さを

～青少年健全育成市民大会～



▲カラーガード隊によるステージ発表

11月は、「全国青少年健全育成強調月間」として、全国的な取り組みが展開されました。

市では青少年健全育成市民大会が11月15日、甲賀農村環境改善センターで開催されました。

甲賀中の生徒2名の司会で進められ、同中吹奏楽部の演奏や、市内ガールスカウトによるカラーガード演技、中学生の意見発表など子どもたちのステージが大会を盛り上げました。また、市教育委員会からは子どもの携帯電話の使用実態についての報告があり、参加者は、青少年をめぐる社会環境について、理解を深めました。

「薬物依存症からの回復」と題した記念講演では、びわこダルク施設長の猪瀬健夫氏が自らの体験談を交えながら、「子どもたちには自分を大切にするように伝えたい」と語りかけました。

思いやりの心・かけがえのない命を大切に

第60回人権週間啓発活動

12月4日から10日までの「第60回人権週間」に合わせ、市内各地で啓発活動が行われました。

市内の人権擁護委員・人権擁護推進員を中心に、駅や量販店など市内17か所で人権尊重の大切さを訴えました。

また人権週間の前日に当たる12月3日には、甲賀人権擁護

委員協議会の皆さんが、管内自治体巡回キャンペーンとして、市役所を訪問。水口庁舎では、一日人権擁護委員の中嶋市長に、同会の三好会長から人権メッセージが手渡されました。人権啓発キャラクターのKENも登場し、歓迎式に花を添えました。



▲人権擁護委員協議会の三好会長からメッセージを受ける中嶋市長

乗って
実現させよう

「草津線の複線化」②

前号では、草津線複線化の必要性についてお伝えしました。引き続き、複線化に向けた取り組み方法となる段階的整備について説明します。

段階的整備

第1ステップ…甲西駅行き違い設備設置

第2ステップ…油日駅・寺庄駅行き違い設備設置

第3ステップ…石部駅→手原駅間、貴生川駅→三雲駅間
新駅設置

第4ステップ…柘植駅→草津駅間部分複線化（駅間別の順次複線化）

複線化の効果は

①甲西駅行き違い設備の整備ができると朝夕のラッシュ時にも増便ができます。

現在3本/時→整備後4～5本/時（貴生川駅～草津駅）

②利用に応じてダイヤの拡充が可能になります。

③複線化できると奈良線や湖西線のように快速・新快速電車の運行が可能になります。また、行き違いによる駅での待ち時間が解消されます。

複線化の実現に向けて

2010年（平成22年）には全線開通120周年・全線電化30周年の節目の年を迎えます。草津線の複線化とダイヤの増強など利便性の向上を図るため鉄道を積極的に利用しましょう。

協賛企業を募集します

草津線複線化の実現に向け、同盟会では、趣旨に賛同し、ご協力いただける企業を募集しています。

問い合わせ

企画政策課 交通政策担当

☎65-0672 FAX63-4554

滋賀県草津線複線化促進期成同盟会
（滋賀県土木交通部交通政策課内）

☎077-528-3681 FAX077-528-4837

